

# 据付説明書

MD-40TED, MD-60TED  
MD-40TED-L, MD-60TED-L

据付工事を行う前に必ず読んでこれに従って工事をしてください。

2VA11139-1

本製品は、吹出ダクトから出る冷風の当たる範囲だけを冷房するスポット式エアコンです。締め切った狭い場所では、室温が上昇しますので据付場所の選定(下記②項目)には、十分ご注意ください。

### おねがい事項

取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき正しい運転のしかた(特にロングライフフィルタの清掃、運転操作のしかた)をご指導ください。

### ご注意

- 次のような場所での据付け、および使用は避けてください。
  - ・ 切削油など鉱物油のたまりあまる場所。(樹脂部品が劣化する恐れがあります。)
  - ・ 亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所。(銅管、ろう付部が腐食する恐れがあります。)
  - ・ シンナー、ガソリンなど揮発性引火物を取扱う場所。

### 別売付属品

本製品の吹出口には、別売延長ダクトが必要です。下表から該当するもの(1台につき吹出口数必要)をご用意ください。

KCD125B-1(1m), KCD125B-3(3m), KCD125B-5(5m)  
KCD125B-7(7m), KCD125B-10(10m)

付属品 次の付属品を確かめてください。

名称	リモコンスイッチ	吹出口蓋	基フランジ	止めバンド	ヒューズ
個数	1式	※1	※1	※1	2ヶ
形	本体	本体	本体	吹出口カバー	シール材
状	木ネジ4ヶ 樹脂止金1ヶ	トラス小ネジ M4 ※2	トラス小ネジ M4 ※2	※1	1箱 KEAS

機種名	※1	※2
MD-40TED, MD-40TED-L	2ヶ	8ヶ
MD-60TED, MD-60TED-L	3ヶ	12ヶ

工事完了後、これだけは再度チェック願います。

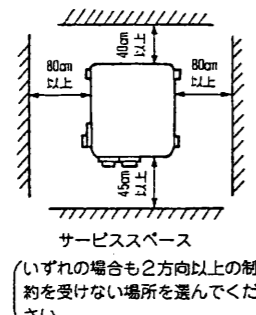
チェック項目	不良の場合	チェック欄
製品の取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
断熱は完全にを行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不振・焼損	
誤配線はありませんか。	運転不振・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電源の太さは仕様どおりですか。	運転不振・焼損	

## 1 据付の前に

- ① 搬入経路を決めてください。
- ② 搬入時は据え付ける場所まで梱包のまま搬入してください。やむを得ず開梱して搬入する場合はユニットを傷つけないようスリング(布製)または、当板をしてロープで吊り上げてください。

## 2 据付場所の選定

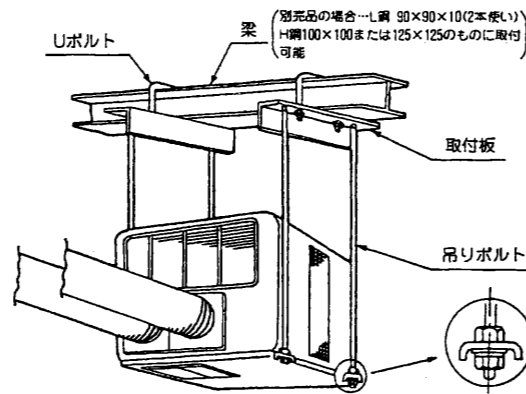
- ① 据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
  - 冷風が延長ダクト範囲内で取せるところ。
  - 風の通路に障害物のないところ。
  - 重量に耐える強度のあるところ。
  - サービス作業が容易にできること。
  - 高温熱源およびふく射熱から離れたところ。
  - 塵埃の少ないところ。
- ② 製品の両側面から熱風が出ますので、熱風のコモる場所を避け風通しの良い場所または、換気扇等を取付けて、45℃以下となる場所に据付けてください。
- ③ 据付けようとする場所が製品の重量に耐えられるかどうかを検討し、危険と思われる場合は、補強して据付作業を行ってください。又、振動、騒音が発生しないよう充分補強して据付作業を行ってください。



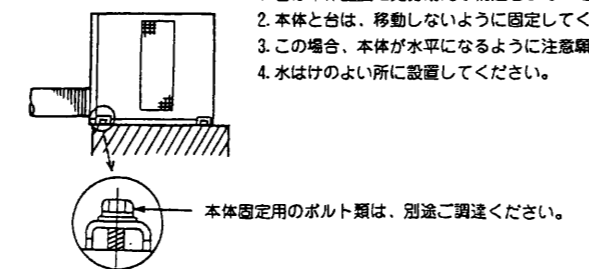
## 3 機械本体の据付

- ① 天吊りの場合
  1. 天井は本体重量に充分耐えることを確認してください。
  2. 右図の梁以外は、天吊補助金具(KCK1A2L...SUA(B)D2LBU, SUA(B)D3(LBU)の別売品をご利用ください。
  3. 本体吊り下げ順序(別売品使用の場合)
    - 現地の梁にUボルトと取付板を固定してください。……付属のUボルトに合った梁をご使用ください。(下図)
    - 取付板に吊りボルトを取付けてください。……付属の吊りボルトが短い時は、現地調達願います。
    - 本体取付位置に、パナネ・平座・ナットを取付けてください。
    - 本体を持ち上げ、吊りボルトにセットしたナット部に取付脚に差し込んでください。

- 取付脚部のナットを締め込み、適当な高さになるよう調整し強固に固定してください。この時、ドレンの排水を良くするため、本体が水平であることを確認してください。



### ② 台置きの場合

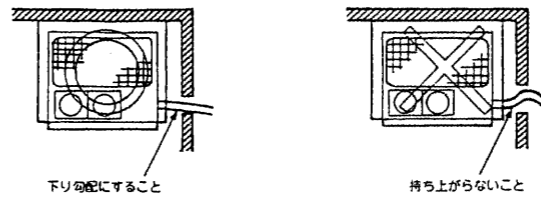


1. 台は本体重量に充分耐える構造としてください。
2. 本体と台は、移動しないよう固定してください。
3. この場合、本体が水平になるように注意願います。
4. 水はけのよい所に設置してください。

## 4 ドレン配管

- ① ドレン配管施工をしてください。
  - 配管は短く、下り勾配を付け、空気がたまりないようにしてください。
  - 配管径は接続配管(PSXB)と同じか、それ以上してください。

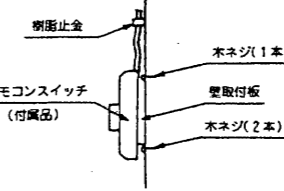
- 屋内を通る配管は必ず断熱工事をしてください。
- ② 配管施工後ドレンがスムーズに流れるか確認してください。
- サービス板を取りはずしてください。
- ドレンパン内に、排水確認用の水を徐々に入れてください。



## 5 リモコンボックスの取付け (リモコンボックスは必ず固定してください)

リモコンスイッチは、湿度の高い所や水・油等のかかる可能性のある所は、必ずさけてください。また付属の壁取付板を使用して、壁・柱等に取付けてください。リード線の長さは、4mです。

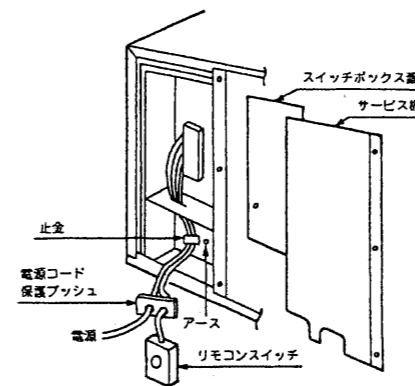
- リード線は、止金で止めてください。



機械本体を屋外へ設置する場合でも、リモコンスイッチは屋内が、雨のかからない場所に取付けてください。また、リード線の壁貫通部にはシール材を塗布し、リード線を雨水が伝わってリモコン本体に浸入せぬよう対策してください。

## 6 電気配線工事

- 電気工事は、認定を受けた電気工事店(登録電気工事業者)でなければ施工できません。
1. 電源は専用の分岐回路を設けてください。
  2. 工事に際しては、必ず漏電しゃ断器を設置してください。
  3. 電源の経路
    - 3-1. 本体よりサービス板と電源コード保護プッシュをはずします。
    - 3-2. スイッチボックス蓋をはずします。
    - 3-3. 電源用配線に本機付属の圧着端子を取付けて、配線図に従い端子台に接続します。
    - 3-4. 電源電線は必ず止金で固定してください。
    - 3-5. 電源経路と同時にスイッチボックスのアース端子より必ずアースを取ってください。
  4. リモコンリード線も同時に、配線図に従い、端子台に接続します。リモコンリード線は、必ず止金で固定してください。
  5. 電源電線、リモコンリード線の接続が完了したら、スイッチボックス蓋をしめ、電源コード保護プッシュで電源電線、リモコンリード線をささみ、プッシュを元のところよりサービス板に差し込んで同時にサービス板を取付けてください。



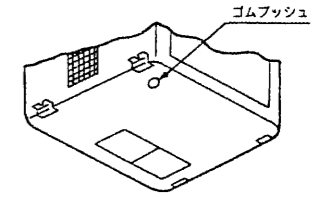
標準配線器仕様表(内線規程JEAC8001(最新のもの)による)

	MD-40TED	MD-40TED-L	MD-60TED	MD-60TED-L
開閉器容量	30A	30A	30A	30A
ヒューズ容量	20A	20A	20A	20A
漏電しゃ断器	20A 30mA 0.1sec以上	20A 30mA 0.1sec以上	20A 30mA 0.1sec以上	20A 30mA 0.1sec以上
アース(銅)	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上
電源電線(金鋼管)	最小太さ 1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm
最大寸長	36m	36m	24m	24m

(最大寸長は電圧降下2%として計算しました。)

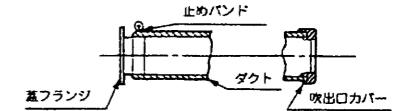
## 7 水抜穴の利用

屋外に設置する場合は、雨天時の水はけを良くするため、下面にあるゴムプッシュを除去してください。(下図参照)

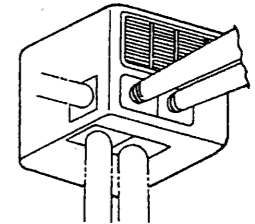


## 8 ダクトの施工

1. 本機には必ず別売の延長ダクト(KCD125タイプ)を利用してください。標準のダクト接続数は10m×(2...MD-40TED(-L), 3...MD-60TED(-L))本です。ダクトは吹出口基フランジに止めバンドを用いて取付けてください。



2. ダクトを取付ける際、吹出口基フランジに力が加からないようにしてください。
3. ダクトは、壁面あるいは天井面に適宜固定してください。
4. ダクトは、3方向に取付ができますので、現地の状況に合わせて最適な方向を決めてください。但し基フランジ数以上同時に使用することはできません。使用しない吹出口には、必ず付属の吹出口蓋を取付けてください。



5. ダクト下面取出しの場合、下図の位置をニッパーにて切断し、カッターナイフにて底面の穴にそって、内部の断熱材を切り吹出ダクトを取付けてください。



6. ダンパは、ダクトの長さ、および各々のダクトの長さが異なる場合に、風量確保、風量配分調節用として使用します。
7. ダクト長さには制限があります。ダクト長さダンパ開度の選定の目安には下表を利用してください。

表の見かた  
例) MD-60TED-Lにて、ダクト本数3本・15mで使用した場合  
ダクト開度の組合せは、(小,小,小)、(小,小,大)、(中,中,中)、(小,中,大)、(小,大,大)、(中,中,大)、(中,大,大)、(大,大,大)の9通りです。  
1本当りの風量の目安は3.8~5.0/4.5~5.8m³/min(50/60Hz)となります。

ダクト本数	機種名	
	MD-40TED MD-40TED-L	MD-60TED MD-60TED-L
2	(小,小) (中,大)	(小,小,小) (中,中,大)
3	(中,中) (大,大)	(小,小,小) (大,大,大)
4	(中,大) (大,大)	(小,小,小) (大,大,大)
5	(中,大) (大,大)	(小,小,中) (大,大,大)
6	(大,大)	(小,中,中) (大,大,大)
1本当り 目安風量 m³/min (50/60Hz)	4.3~5.5 5.0~6.3	3.8~5.0 4.5~5.8

8. ダンパ開度の調整は、右図の調整用ネジを操作して行ってください。銘板の「大」、「中」、「小」はダンパの開度を示します。
9. 吹出口の位置が決まりましたら、先端に吹出口カバーを差し込んでください。
10. ダクトに露がつき滴下する場合がありますので、必要に応じて別売の防露テープ等をご利用の上、防熱を施してください。

## 9 試運転の要領

(工事完了後、これだけは再度チェック願います。の欄をよくご覧ください。)

- ① 電気配線工事が終了後、機械保護のために取扱説明書の運転操作の手順に従って3分間連続運転してください。
- ② 試運転終了後、「おねがい事項」の内容をお客様によく説明してください。